

まちのキラリびと



金ヶ崎緑地が一番
落ち着く場所です

トップ
NPO 法人 THAP 理事長

いけだ ゆうたろう
池田 裕太郎さん (59)

まちを変えていくのが好き

THAPでは、金ヶ崎緑地の月例の清掃や、他団体と連携して、ミライエや鉄道フェスティバルなどのイベントの企画・運営を行っています。また、新幹線敦賀開業に向けたおもてなし事業として、毎月1回、商店街の清掃と、氣比神宮前での観光客への写真撮影のお手伝いを行っています。

私の生まれは富山県で、小学3年生のときに敦賀に来て、今年で50年になります。年配の敦賀の方は、生まれが市外だと「旅の人か」と言ったりするんですけれど、私も言われて「私は何年旅しているんや(笑)」と思ったりします。

様々な活動に携わってききましたが、まちを変えていくことが好きなんです。楽しいです。掃除でもイベントでも、お客さんから「ありがとう」「楽しかったよ」と声をかけられると、またやろうと思います。活動の原動力は、敦賀が好きだという気持ちと、ここに人がたくさん来て、もつとにぎわってほしいという想いです。今後、100年に1回のチャンスと言われている新幹線が敦賀に來ます。たくさんの方に敦賀で降りていただけるよう、これからも取り組んでいきます。

▲氣比神宮前でおもてなし活動をするTHAPのメンバー



まちの宝を発見！ つるが歴史遺産

近代敦賀・国際港の風格漂う

この建物はどっしりと重厚な銀行建築で、近代の風景からそこだけ切り取ったような姿です。地上三階地下一階、鉄骨レンガ造、当時の敦賀港周辺では群を抜いた高層建築で「摩天閣」と新聞にもてはやされました。

明治25年に大和田銀行を創業した大和田莊七は、商業の近代化や港の整備に尽力し、大いなる貢献のあった人物です。彼はこの本店建物について、外国航路の発着していた港の「体面上から見ても精々立派にする必要を認め」「鉄骨石造と言う思い切った不相应な建築をして一面に当地の体面を向上すると同時に不用の部分と公共に供する」と構想を語っています。その言葉のとおり、核となる銀行機能に加えて、地域の人々のためにレストラン、公会堂、豪華な応接室などが設けられていました。

当時のパンフレットの「敦賀名所」の頁には「大和田ビルディング」とあり「屋上展望ヨシ」と書かれていますので、屋上からの眺望を楽しむ人もいたようです。また大正14年製のエレベーターの箱と機械部分が残されており、国産エレベーター黎明期の貴重な文化財として昨年「機械遺産」に認定されています。



旧大和田銀行本店本館



案内人
学芸員 高早 恵美

地域の文化財を
身近に感じて
ください！

基本情報

種別：重要文化財
(平成29年2月指定)
昭和2年竣工
所在地：相生町

広報担当者の つぶやき

今回の異動で配属となりました。敦賀市からの情報を少しでも分かりやすくお届けできるように、がんばってまいります。どうぞよろしくお祈りします。(K)

広報つるがをリニューアルしました！15頁に変更点を掲載しているのでご覧ください。幅広い世代に愛される広報紙を目指してがんばりますので、これからもよろしくお祈りします。(M)

今回で異動となりました。939回続く広報つるがの発行に48回も携われて幸せでした。協力いただいた皆さん、ありがとうございました。部署は変わりますが、職についた初心を忘れず、がんばります。(O)